

令和6年度予算案が決まりました

アフターコロナに向けて、にぎわいとやさしさに満ちた港区へ力強く踏み出す予算

コロナ禍が収束へと向かい、地域の恒例行事が再開され、訪日観光客数がコロナ前の水準を超える月もみられるなど、まちににぎわいが戻りつつあります。

一方で、国際的な原材料価格の上昇や輸入物価の上昇をきっかけとした食料品やエネルギー価格の高騰は、依然として区民生活や区内産業に大きな影響を与えています。

また、元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、突如として日常生活を一変させてしまう自然災害の恐ろしさと、日頃から災害に備えることの大切さを改めて実感することとなりました。

令和6年度予算は、長く続いたコロナ禍の影響から脱却し、次代を担う子どもたちや各世代の区民の皆さんが安心して幸せに暮らし続けることができるよう「アフターコロナに向けて、にぎわいとやさしさに満ちた港区へ力強く踏み出す予算」として編成しました。

区民生活と区内産業を支え「活力」をまちに呼び起こす施策、未来

へ続く「強靱」なまちづくりを加速する施策、次代を担う「子ども」を地域全体で育む施策、社会課題を乗り越え「誰もが安心して住み続けられるまち」を実現する施策の4つを重点施策として掲げ、積極的に取り組んでまいります。

令和6年度の一般会計予算は1,845億9千万円となり、一般会計と3つの特別会計を合わせた全体の予算総額は、2,368億2,938万6千円となります。本予算案は、2月14日(水)に開会予定の令和6年第1回港区議会定例会で審議されます。

この予算特集号では、令和6年度予算案の内容を区民の皆さんの生活に身近なこととして知っていただけるよう、予算編成方針に掲げた4つの重点施策を中心にご説明します。



港区長

武井 雅昭

予算案の概要

一般会計の予算額は1,845億9,000万円です

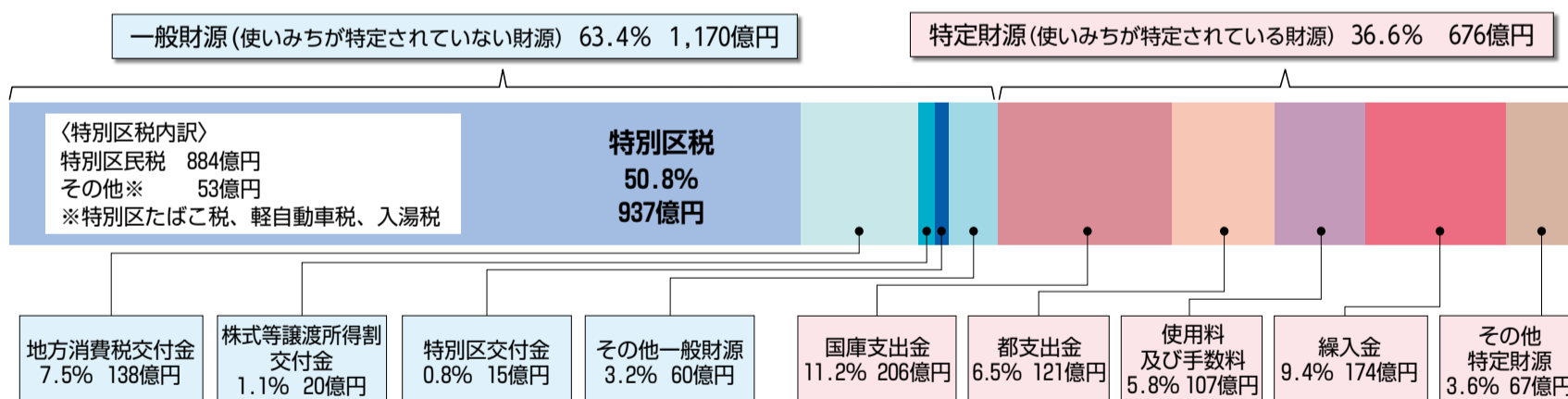
まちの変化や区民ニーズの変化に対応し、アフターコロナの新時代を見据え、まちのにぎわいや区民の暮らしを豊かにするための取り組みや、令和6年1月1日に発生した能登半島地震を教訓として、区の地域特性に応じた防災対策の強化等に積極的に予算を計上しました。

各会計当初予算案の規模

区分	令和6年度予算案	令和5年度予算	増減率	
一般会計	1,845億9,000万円	1,632億7,000万円	13.1%	
特別会計	522億3,938万6千円	489億5,992万円	6.7%	
内訳	国民健康保険事業会計	266億7,060万7千円	244億1,198万5千円	9.3%
	後期高齢者医療会計	70億3,770万9千円	64億6,703万9千円	8.8%
	介護保険会計	185億3,107万円	180億8,089万6千円	2.5%
合計	2,368億2,938万6千円	2,122億2,992万円	11.6%	

グラフ1 一般会計歳入予算案

特別区税は特別区民税等の増により、令和5年度から2.7%増の937億円となり、歳入全体の50.8%を占めています。



グラフ2 一般会計歳出予算案

令和6年度は、ひとり暮らし高齢者等見守り推進事業、障害者グループホーム支援、子育て情報収集・提供事業等、民生費の予算に664億円を計上しています。



*その他は、公債費(0.3億円)、諸支出金(105億円)、予備費(10億円)です。

*予算特集号の金額等は、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

令和6年度予算における重点的な4つの施策 433億9,389万円

予算編成方針に掲げた4つの重点施策ごとに、主な取り組みをご説明します。各重点施策におけるその他の取り組みについては、令和6年度予算概要をご参照ください。予算概要は港区HPで公開しています。



令和6年度
港区予算概要

重点施策1 区民生活と区内産業を支え「活力」をまちに呼び起こす施策 63億1,241万円

コロナ禍の影響から区民生活の安定を図るとともに、区内産業の活性化により、にぎわいと魅力あふれるまちを実現します **23億2,162万円**

- 区民等が便利に買い物ができ、商店街での消費喚起につながるよう、電子商品券を更に使いやすくする独自のアプリの導入やプレミアム付き区内共通商品券の発行経費を補助します。



- 区内での創業を後押しし、創業当初に安定して経営ができるよう、商工相談員による創業計画書作成支援および創業当初に必要な経費の一部補助を実施します。



住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人、誰もが地域とのつながりや人と人とのつながりを持ち、いきいきと活動できるまちを実現します **32億4,990万円**

- 新たな観光スポットを増やし、区内観光を楽しむことができるよう、積極的にメディア等の撮影を支援するとともに、ロケーション情報をデータベース化します。



- 区を訪れる人が快適に区内を観光できるように、港区観光インフォメーションセンターを新設します。



区民の健康を守り、身近に運動を楽しむことができる誰もが健康で元気に過ごせるまちを実現します 7億4,089万円

- 区内の働き盛り世代の健康づくりの強化・支援に向けて、学識経験者を含めた検討会の実施や、港地域産業保健センターと連携した講習会や相談会の開催等を実施します。



- 難聴を早期発見し、高齢者が健康で自立した生活を維持することができるよう、60・65・70・75歳の人を対象に聴力検査を実施します。



重点施策2 未来へ続く「強靱」なまちづくりを加速する施策 136億8,547万円

あらゆる災害や危機に強いまちづくりにより、安全で安心できるまちを実現します **105億4,101万円**

- 港区に転入した区民等が災害時に自宅で安心して避難生活を送ることができるよう、転入者等に1人当たり20回分の携帯トイレを配布し、備蓄を進めるきっかけづくりとします。



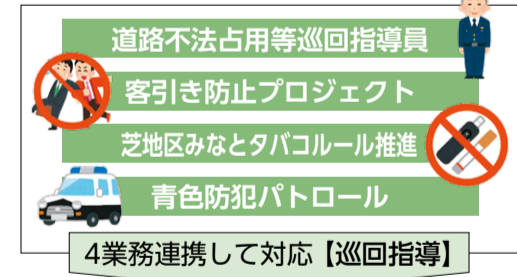
- 高層住宅に居住する区民が、災害時に在宅避難ができるよう、共同住宅防災組織への防災資機材の助成メニューに荷物用の電動階段運搬車を追加します。



誰もが安らぎを感じる清潔で綺麗な快適に過ごせるまちを実現します **29億3,890万円**

新橋駅周辺繁華街対策事業の推進

- 来街者が安全かつ安心して新橋駅周辺の繁華街を利用できるように、客引きや路上喫煙・営業等の迷惑行為に対して巡回による指導等を実施します。



区内飲食店経営の後押しや地域環境の改善ができるよう、誰もが入りたくなる清潔な店舗とするための改装費の一部を補助します。

補助率 2分の1
補助上限 50万円

- 歩行者等の安全を守ることができるよう、区道上の不法占用建築物を整理します。



温室効果ガス排出実質ゼロに向けた環境にやさしいまちを実現します **2億557万円**

2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取り組み

令和6年度 新規・臨時・レベルアップ事業		
区	事業者	区民
区有施設への太陽光発電設備等設置に向けた事業者選考	建築物への再エネ設備利用を促進	マイボトル普及に向けた給水機を設置
区有施設のZEB化	再エネ100パーセント電力に切り替えた中小事業者への利子補給	
庁有車の電動化(環境学習用清掃車1台、乗用車2台)		

重点施策3 次代を担う「子ども」を地域全体で育む施策

174億8,942万円

子育て家庭やすべての世代の子どもに対する支援 62億2,184万円

- 妊娠期から子どもが小学校1年生になるまでの家族が、安心して出産・子育てができるよう、妊娠、出産、子育ての知識と区の情報をメールとLINEで配信します。

令和5年度

対象 妊娠期から子どもが3歳まで

方法 メールで配信



令和6年度

対象 妊娠期から子どもが小学校1年生まで

方法 メールとLINEで配信



- ひとり親世帯等の経済的負担や家事負担が軽減できるよう、提供する食料品を掲載したカタログを送付し、利用者が選択した食料品を自宅に配送します。



毎月

食料品は、複数のメニューから選択することができます。

児童扶養手当を受給しているひとり親世帯等に食料品を掲載したカタログを送付し、利用者が選択した食料品を年12回自宅に配送します(年間12万円分)。

小学生や中学生がいる家庭に対する支援 67億3,796万円

- 学校設置者として、子どもに直接効果が及ぶ給食支援を通じて教育に係る保護者負担を継続的に軽減することを目的に、令和6年度以降、区立小・中学校の学校給食費を不徴収とします。



給食支援

- 区立中学校第3学年の全生徒を対象に海外修学旅行を実施するとともに、全ての区立幼稚園にネイティブティーチャーを派遣し、国際理解教育を推進します。



- 区立中学校第1学年から第3学年の希望する生徒が、基礎学力の向上や希望する進路を実現できるよう区立中学校2カ所で学習指導講座を行います。

第1・2学年		第3学年	
定員	各学年50人(25人×2クラス) ※地域別	定員	60人(30人×2クラス) ※学力別
頻度	週2日	頻度	週3日(別途、夏季・冬季講習を実施)
教科	英語・数学・理科・社会	教科	英語・数学・理科・社会・国語



産前・産後、乳児のいる家庭に対する支援 2億9,259万円

- 乳幼児のいる家庭の読書環境が充実できるよう、図書館職員が選んだ年齢に応じた図書館の絵本を毎月無償で家庭に届けます。

対象:6カ月から4歳の誕生日を迎える月までの乳幼児

回数冊数:毎月1回3冊。一人当たり最大で129冊の絵本が届きます。



毎月1回3冊を貸し出し

未就学児がいる家庭に対する支援 41億9,611万円

- 区立幼稚園園児の保護者の負担軽減となるよう、希望者が弁当配送を注文できるサービスを導入します。



配送経費を区が負担し、弁当代は保護者負担となります。

区が一括して契約することで、園児数の少ない園でも弁当の注文が可能となります。

- 子育て家庭が在宅保育の負担を軽減できるよう、未就園児を対象とする定期的な預かり事業を、伊皿子坂保育園および南麻布三丁目保育室跡地で実施するとともに、区における(仮称)こども誰でも通園制度のあり方を検討します。

保育が必要であることの認定(子どものための教育・保育給付認定)の有無を問わず、継続して週2~3回程度定期的に預かりを行います。

場所

- ①伊皿子坂保育園
- ②南麻布三丁目保育室跡地

高校生や若者世代に対する支援 4,091万円

- 高校生世代が思春期特有の悩みや不安等の相談や本音を言うことができ、安全で安心して過ごすことができるよう、(仮称)高校生世代の居場所づくり検討委員会を設置し、家庭や学校以外の第三の居場所づくりに関する検討を行います。



- 若い世代を中心とした幅広い世代が、HIVおよび性感染症の感染予防と早期発見による重症化を防止できるよう、検査の機会の提供や、予防に関する知識の普及啓発を行います。

拡充内容

①夜間即日検査に、女性のための検査日を1回追加
保健所即日検査に、女性のための検査日を4回設定
aiチェックを200回追加

②若い世代への正しい性感染症の知識向上のため、健康教育の対象を区内全中学校に拡大する他、区内大学の学園祭でのブース出展を増やす等、学生に向けた取り組みを強化

③性感染症予防に関する啓発動画を作成し、デジタルサイネージ等を活用して感染予防を周知



重点施策4 社会課題を乗り越え、「誰もが安心して住み続けられるまち」を実現する施策 **59億659万円**

高齢者や障害者が安心して暮らし続けられ、地域に見守りや支えあいがあるまちを実現します **35億1,075万円**

●生活困窮等介護以外の複合的な課題を抱える世帯が早期に必要な支援を受けられるよう、ふれあい相談員の訪問対象に80歳以上の高齢者を含む世帯を追加します。

これまでの訪問対象

- 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 75歳以上の高齢者のみの世帯
- 地域等から相談があった65歳以上の高齢者

訪問対象拡大

- 80歳以上の高齢者を含む世帯
- 高齢者のみの世帯以外も対象に!

各関係機関と連携し、複合的な課題を抱える世帯を適切な支援につなげます。
高齢者相談センター
総合支所 民生委員
町会・自治会 等と連携

年齢、国籍、性別等にかかわらず、希望する誰もが社会に参加し、自分らしく過ごせるまちを実現します **1億5,266万円**

●区内在住外国人がより地域に参画できるよう、日本語学習支援事業を周知するチラシを配布するとともに、日本語サロンの定員を拡大します。



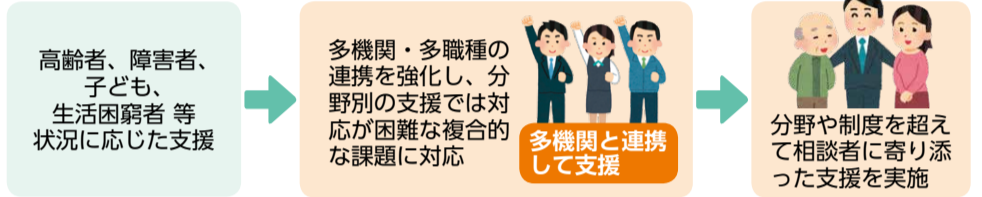
●ひきこもり当事者およびその家族が悩みについて気軽に相談できるよう、ひきこもり相談窓口を設置します。

これまで…
 ●港区生活・就労支援センターでひきこもりに関する相談を受け付け
 ●対象者は「生活に困窮している人・困窮する恐れのある人」に限定
 →ひきこもりの原因は生活困窮に限らず、生活困窮者以外への支援体制の強化が必要

4月から…
ひきこもり相談窓口を設置!
 ●ひきこもりに関する**専門の相談窓口**
 ●**生活困窮者以外も**相談可能

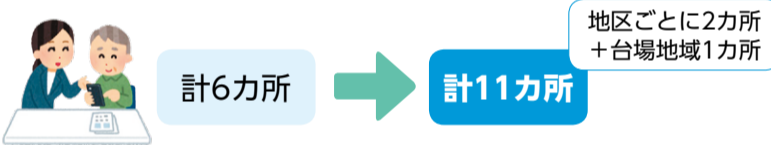
専門窓口の設置により、それぞれの当事者・家庭に寄り添った支援を行います。

●地域での生活において課題を抱える区民が適切な支援を受けられるよう、相談支援、社会参加の支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う、港区重層的支援体制整備事業の令和7年度の本格実施に向けて、検討・試行を実施します。



デジタルトランスフォーメーション(DX)を加速させ、誰もが便利に生活できるデジタル社会を実現します **22億4,318万円**

●スマートフォン利用の定着化・習慣化やスマートフォンを活用したいいきがづくりの支援のため、デジタル活用支援員相談窓口の実施体制を拡大します。



●区民に広く効果的に区政情報を届けられるよう、SNSを活用し、視認性の高いショート動画や静止画による情報を発信します。



令和6年度も引き続き区窓口等での手続きに関する手数料は無料です

区民や区内事業者等の負担軽減のため、区民が申請する戸籍や住民票等の証明書発行手数料等を無料(コンビニでの発行手数料は10円)とする他、中小企業者や個人事業主の営業・販売・開設等に係る手続きの手数料を引き続き無料とします。

対象期間 令和7年3月31日(月)申請分まで

問い合わせ 企画課企画担当 ☎3578-2528

表1 無料になる手数料の例

対象者	対象となる主な手数料
区民	戸籍(全部・個人)事項証明書 等
	住民票の写し、記載事項証明書 等
	印鑑登録証明書
	住民税課税・納税証明書
	犬の登録手数料
	狂犬病予防注射済票交付手数料
中小企業者 個人事業主	飲食店営業許可申請手数料
	飲食店営業許可更新申請手数料
	理容所または美容所の検査手数料
	診療所開設許可手数料



予算編成過程の公開

予算要求事業概要書の公開

新規事業とレベルアップ(拡充する)事業について、区民ニーズ、事業内容、要求額の内訳等、各部門の要求の考え方と、事業の効果、効率性、財政負担等を踏まえた予算編成の考え方をまとめた予算要求事業概要書を港区HPで公開します。

令和6年度各会計当初予算案と要求額の比較

令和6年度当初予算案の規模は、一般会計1,845億9,000万円、特別会計522億3,939万円で、総額は2,368億2,939万円となり、当初要求額と比較して70億円の増額となりました。

表2 比較表

区分	令和6年度			令和5年度 当初予算額 (C)	当初予算額 対前年度比較		
	当初予算案 (A)	当初要求額 (B)	調整額 (A)-(B)		増減額 (A)-(C)	増減率	
一般会計	1,846億円	1,790億円	56億円	1,633億円	213億円	13.1%	
特別会計	522億円	508億円	15億円	490億円	33億円	6.7%	
内訳	国民健康保険事業会計	267億円	256億円	11億円	244億円	23億円	9.3%
	後期高齢者医療会計	70億円	66億円	5億円	65億円	6億円	8.8%
	介護保険会計	185億円	186億円	△1億円	181億円	5億円	2.5%
合計	2,368億円	2,298億円	70億円	2,122億円	246億円	11.6%	